

実店舗の課題解決を目的としたAIエージェント活用
ハンズオンセミナー

店舗向けAIエージェントを体験してみよう

アマゾンウェブ サービスジャパン合同会社
ソリューションアーキテクト
喜多 望

2025/09/04



自己紹介

喜多 望 (Nozomi Kita)

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
技術統括本部 エンタープライズ事業分部
小売・消費財 第一ソリューション部
ソリューションアーキテクト



ソリューションアーキテクト (技術担当)として、アパレル業界のお客様の技術支援をしています。

Security 分野は幅広いお客様を支援しています。

好きな AWS サービス : Amazon GuardDuty

趣味 : ゲーム



モデルの有効化

Amazon Bedrock のモデルアクセスを有効化

- 現在のリージョンが [米国 (バージニア北部)] であることを確認
- マネジメントコンソール左上の検索窓から [Amazon Bedrock] を検索
- Amazon Bedrockのモデルアクセスから以下のモデルを有効化
 - Amazon
 - Nova Pro, Nova Lite, Nova Micro
Nova Canvas
 - Anthropic
 - Claude 3 Haiku, Claude 3.7 Sonnet
 - Stability AI
 - SDXL1.0

Amazon Bedrock > モデルアクセス

Image / Video playground
ウォーターマーク検出

▼ Infer
Cross-region inference
Batch inference
プロビジョンドスループット
Custom model on-demand [New](#)

▼ Tune
カスタムモデル
Prompt router models
インポートしたモデル
Marketplace model deployment

▼ Build
エージェント
フロー
ナレッジベース
自動推論
ガードレール
プロンプト管理
データオートメーション

▼ Assess
Evaluations

▼ Configure and learn
設定
モデルアクセス
ユーザーガイド [📖](#)
Bedrock サービス規約 [📄](#)

モデルアクセスとは? ^②
Bedrock を使用するには、正しい IAM 許可 [🔗](#) を持つアカウントユーザーが利用可能な Bedrock 基盤モデル Bedrock モデル利用規約 [📄](#) のすべての Bedrock FM を表示します。

すべてのモデルを有効にする **特定のモデルを有効にする**

Visit [Amazon Bedrock Quotas](#) for a quick guide to the default quotas and limits that apply to Amazon Bedrock.

ベースモデル (55)
Not seeing a model you're interested in? Check out all supported models by region [こちら](#).

Find model

モデル

▼ AI21 Labs (3)

- Jamba-Instruct
- Jamba 1.5 Large
- Jamba 1.5 Mini

▼ Amazon (15)

- Nova Pro
- Nova Lite
- Nova Premier [Cross-region inference](#)
- Nova Micro
- Nova Sonic

ハンズオン手順

はじめに

本セッションの概要：

- 店舗業務で利用するAIエージェントを作成してみることで、自社の店舗ではどういった利用ができるかをイメージする

本セッションの形式：

- 講師が前で実演しながら、皆様にも一緒に手順を進めていただきます。
※ハンズオン手順をもとに、ご自身のペースで進めて頂いても大丈夫です
- お困りごとはAWSメンバーを気軽にお呼びください
- セッション進行のためのリアクションにご協力ください！

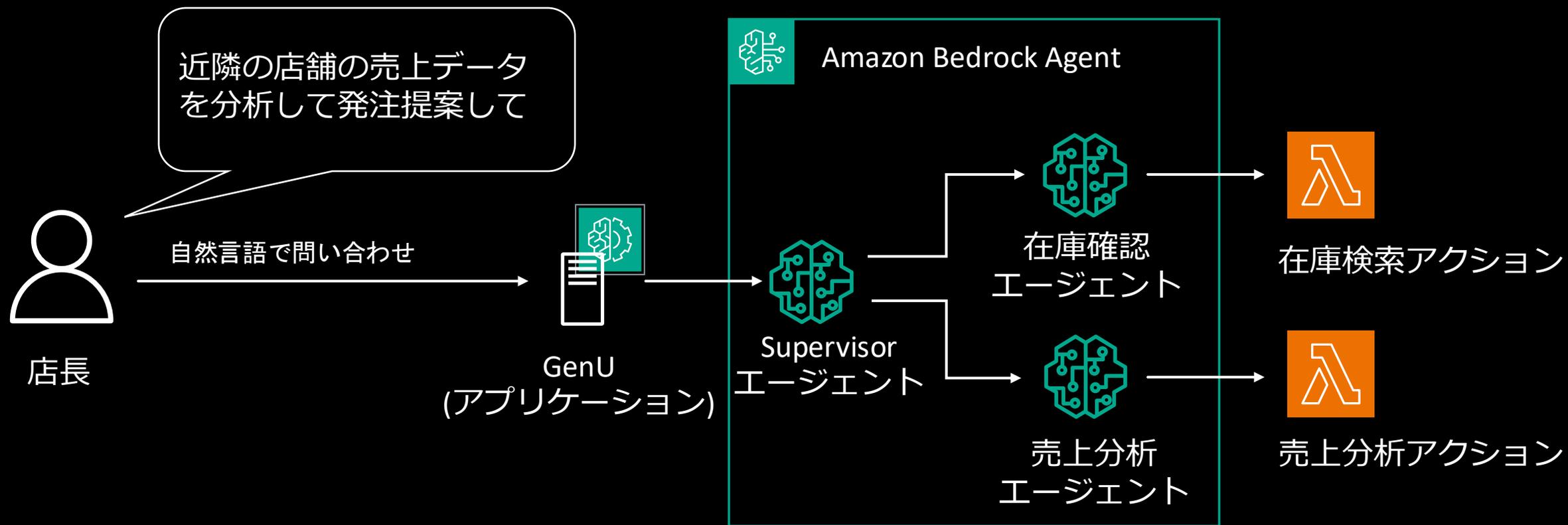
ハンズオンの概要

店舗業務に必要な在庫管理、売上分析などを行うAIエージェントと実際に店舗側からアクセスできるWebアプリケーションを構築



ハンズオンのアーキテクチャ

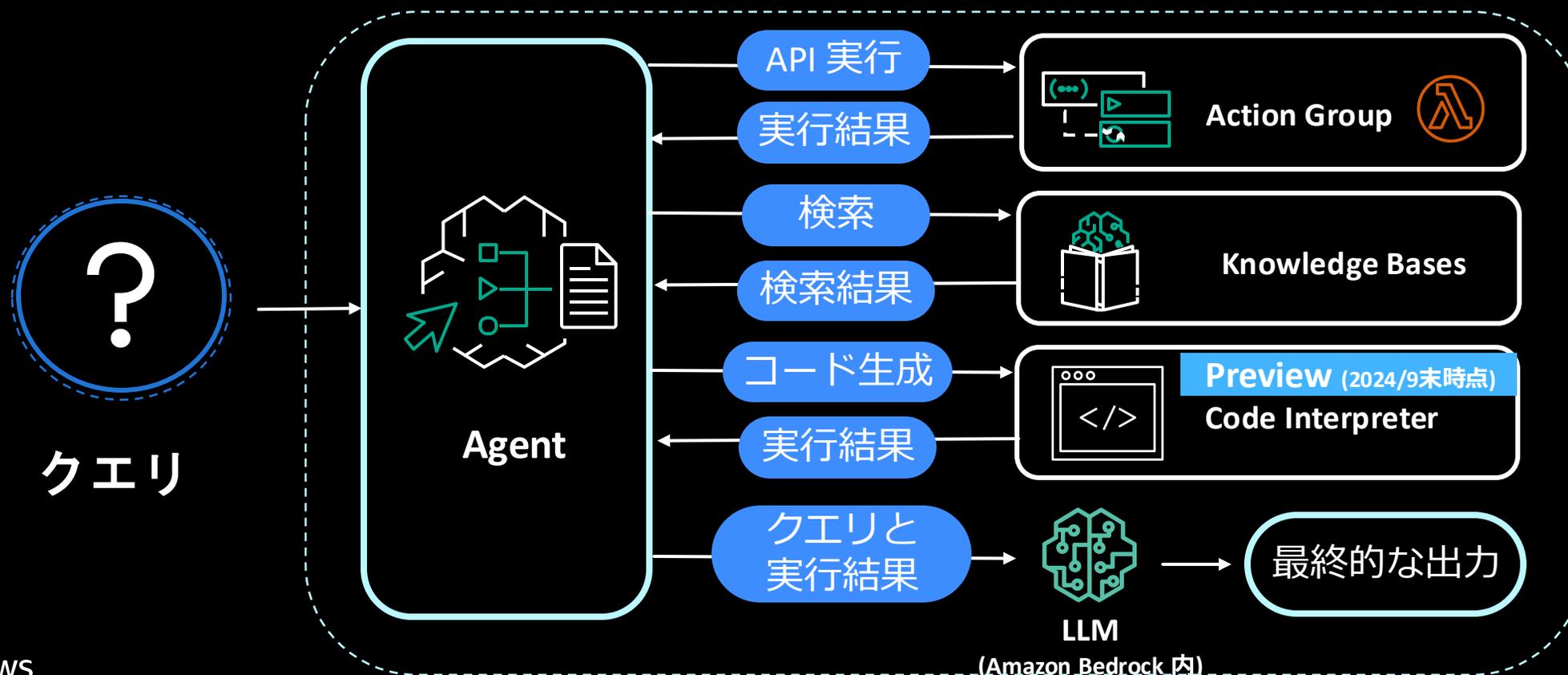
店舗業務に必要な在庫管理、売上分析などを行うAIエージェントと実際に店舗側からアクセスできるWebアプリケーションを構築



Amazon Bedrock Agents とは

API を呼び出しタスクを実行する Agent 機能をフルマネージドで提供

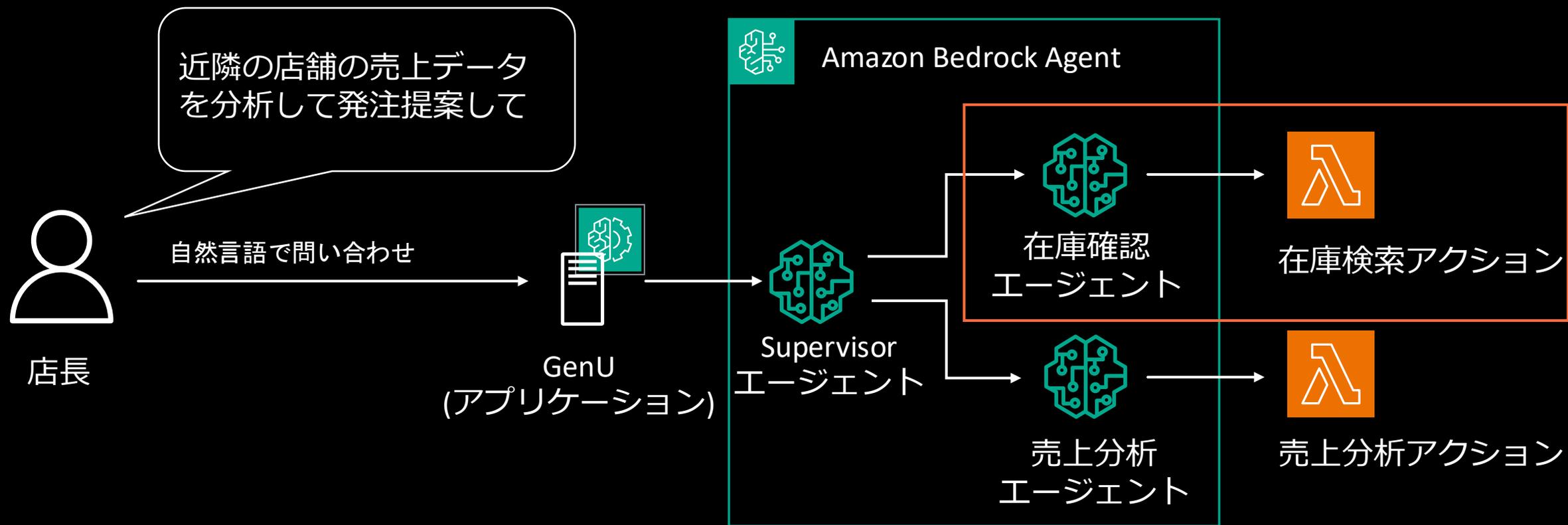
基盤モデルを使ってユーザのクエリを理解し、登録された情報を Knowledge Bases から検索したり、タスク完了に必要なアクションを実行



在庫管理 エージェントの作成

ハンズオンのアーキテクチャ

店舗業務に必要な在庫管理、売上分析などを行うAIエージェントと実際に店舗側からアクセスできるWebアプリケーションを構築



在庫確認エージェントの作成

- Amazon Bedrock コンソールのナビゲーションペインから [エージェント]
- [エージェントを作成]
 - 名前：InventoryAnalysis
 - その他はデフォルト

The screenshot shows the Amazon Bedrock console interface. On the left, the navigation menu is visible, with the 'Build' section expanded and 'エージェント' (Agents) highlighted with a red box and a circled '1'. The main content area shows the 'エージェント' (Agents) page, which includes an 'Overview' section with instructions on how to create agents. Below this, there is a table for existing agents, currently showing 'エージェント (0)'. A red box highlights the 'エージェントを作成' (Create Agent) button in the top right corner of the table area, with a circled '2' next to it.

エージェントビルダーの編集

- [モデルを選択]
 - Anthropic → Claude 3 Haiku
- [エージェント向けの指示]
 - あなたは在庫分析エージェントです。あなたは以下のことができます。
指定された店舗の商品在庫を回答する。
指定された店舗で在庫不足の商品があった場合は、該当商品の情報を知らせる。

エージェントビルダーの編集

- モデル、指示の入力をしたら一度保存

エージェントビルダー 情報 Manual Assistant テスト 準備 保存 保存して終了

エージェントの詳細

エージェント名

InventoryAnalysis

有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_(アンダースコア)、-(ハイフン)です。名前は最大 100 文字です。

エージェントの説明 - オプション

説明を入力してください

説明は最大 200 文字です。

エージェントリソースロール

新しいサービスロールを作成して使用

既存のサービスロールを使用

AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_SHOBA73QIB8

モデルを選択

 Claude 3 Haiku v1  

オンデマンド

エージェント向けの指示

エージェントが実行するタスクについて、明確かつ具体的な指示を提供します。特定のスタイルやトーンを指定することもできます。

あなたは在庫分析エージェントです。あなたは以下のことができます。

指定された店舗の商品在庫を回答する。

指定された店舗で在庫不足の商品があった場合は、該当商品の情報を知らせる。

この指示は 40~4000 文字です。

▶ その他の設定

アクショングループの追加

- エージェントビルダーの画面中央から [アクショングループ] → [追加]
- アクショングループ名：InventoryAnalysis
- 説明：商品の在庫状況を確認する
- アクショングループ関数
 - 名前：InventoryAnalysis
 - 説明：商品の在庫状況を確認する
 - パラメータ：
 - 名前：storeName, 説明：店舗名
 - 名前：storeId, 説明：店舗ID
- その他はデフォルトのまま、[作成]

アクショングループの詳細

アクショングループ名を入力

InventoryAnalysis

説明 - オプション

商品の在庫状況を確認する

有効な文字は、a～z、A～Z、0～9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。この説明は最大 200 文字です。

▼ アクショングループ関数 1: InventoryA 削除 テーブル JSON エディタ

関数は、定義されたパラメータを使用してこのアクショングループのビジネスロジックを指定します。フォームビルダーまたは JSON エディタを使用して関数を作成します。アクショングループごとに最大 3 つの関数を作成できます。

名前

InventoryAnalysis

有効な文字は、a～z、A～Z、0～9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。この説明は最大 100 文字です。

説明 - オプション

商品の在庫状況を確認する

有効な文字は、a～z、A～Z、0～9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。この説明は最大 1200 文字です。

Enable confirmation of action group function - オプション

Request confirmation before user invokes the action group's function. Enabling this may safeguard your end user from malicious prompt injection.

Enabled

Disabled

パラメータ (2)

パラメータを使用すると、アクショングループ関数内のオブジェクト関係を定義できます。

名前	説明	タイプ	必須	削除
storeName	店舗名	String	False	🗑️
storeId	店舗ID	String	False	🗑️

[パラメータを追加](#)

アクショングループの編集

- [アクショングループ] から作成した [InventoryAnalysis] をクリック
- [アクショングループの呼び出し] タブのLambda関数の [表示] をクリック

アクショングループの呼び出し

オーケストレーション中に基盤モデルが識別したアクショングループに基づいて呼び出される Lambda 関数を指定します。

Lambda 関数の定義方法を選択してください

- 新しい Lambda 関数をすばやく作成する - 推奨
お客様に代わって Amazon Lambda 関数がお客様のアカウントに作成されます。これ以上設定する必要はありません。
- 既存の Lambda 関数を選択してください
このアクショングループには既存の Lambda 関数を使用します。
- リターンコントロール
テストウィンドウでのエージェント応答では、応答を生成するための関数の詳細をユーザーに求めるプロンプトが表示されます。これ以上設定する必要はありません。

Lambda 関数を選択

以前に作成した Lambda 関数を選択するか、または [AWS LambdaariaLabel=`\\$AWS Lambda \(\\$opens in new tab\)`](#) にアクセスして、新しい関数を作成します。

関数のバージョン

InventoryAnalysis-76roz

\$LATEST

表示



Lambda関数の編集

- Lambda関数のエディタ内のコードを全選択して削除

The screenshot shows the AWS Lambda console interface for a function named "InventoryCheck-n4iaz". The "コードソース" (Code Source) tab is active, displaying a code editor with a single line of code: "Amazon Q Tip 1/3: Start typing to get suggestions ([ESC] to exit)". A red rectangular box highlights the code editor area. An orange callout bubble with a pointer to the code editor contains the text "dummy_lambda.pyの中身を削除" (Delete the contents of dummy_lambda.py). The console also shows the function's ARN and other details on the right side.

Lambda関数の編集

- 配布コードの InventoryAnalysis.py の内容を空のエディタ内にコピー＆ペースト
- [Deploy]
- Bedrock アクショングループの画面に戻り、[保存して終了]

コードソース 情報 Open in Visual Studio Code

InventoryAnalysis-76roz

dummy_lambda.py

```
1
2 import logging
3 from typing import Dict, Any
4 from http import HTTPStatus
5 import json
6
7 logger = logging.getLogger()
8 logger.setLevel(logging.INFO)
9
10 # 店舗データ
11 store_data = [
12     {
13         "storeId": "S001",
14         "storeName": "新宿店"
15     },
16     {
17         "storeId": "S002",
18         "storeName": "渋谷店"
19     },
20     {
21         "storeId": "S003",
22         "storeName": "目黒店"
23     }
24 ]
```

EXPLORES

INVENTORYANALYSIS-76ROZ

dummy_lambda.py

DEPLOY [UNDEPLOYED CHANGES]

⚠ You have undeployed changes.

Deploy (⇧⌘U)

Test (⇧⌘T)

元から入っていたコードは削除し、配布されたコードをペースト

作成したエージェントのテスト

- [保存] → [準備]
- 画面右側の [テストエージェント] に下記のプロンプトを入力：
 - 目黒店の在庫を教えてください
- [保存して終了]

The screenshot displays the AWS Agent Builder interface. At the top, there are tabs for 'Manual', 'Assistant', 'テスト' (Test), '準備' (Prepare), '保存' (Save), and '保存して終了' (Save and End). The '準備' tab is highlighted with a red box and a circled '2'. The '保存' tab is highlighted with a red box and a circled '1'. The '保存して終了' tab is highlighted with a red box and a circled '4'. The main content area is titled 'エージェントビルダー 情報' and contains the following sections:

- エージェントの詳細**
 - エージェント名: InventoryAnalysis (Circled '2')
 - 有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_(アンダースコア)、-(ハイフン)です。名前は最大 100 文字です。
- エージェントの説明 - オプション**
 - 説明を入力してください (Circled '1')
 - 説明は最大 200 文字です。
- エージェントリソースロール**
 - 新しいサービスロールを作成して使用
 - 既存のサービスロールを使用
 - arn:aws:iam::677784863354:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_SXS07UEPG5Q
- モデルを選択**
 - Claude 3 Haiku v1
- エージェント向けの指示**
 - あなたは在庫分析エージェントです。あなたは以下のことができます。
指定された店舗の商品在庫を回答する。
指定された店舗で在庫不足の商品があった場合は、該当商品の情報を知らせる。
この指示は 40~4000 文字です。

On the right side, the 'テストエージェント' (Test Agent) panel is visible, showing the prompt '目黒店の在庫を教えてください' (Tell me the inventory of the Meguro store) and the resulting response from the agent. The response lists inventory for various items like tea bags, tea, and coffee beans. A red circle with the number '3' is placed over the 'Enter your message here' input field at the bottom of the test panel.

エイリアスの作成

- [エイリアスを作成]
- エイリアス名 : latest
- [エイリアスを作成]

InventoryAnalysis

エイリアスを作成 Test エージェントビルダーで編集

エージェントの概要

名前 InventoryAnalysis	ID HC8KRSL6UH
説明 -	ステータス 🟢 PREPARED
作成日 August 18, 2025, 16:36 (UTC+09:00)	最終準備完了 August 19, 2025, 11:13 (UTC+09:00)
許可 arn:aws:iam::767397796428:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_IBRXGFG4FF	エージェント ARN arn:aws:bedrock:us-east-1:767397796428:agent/HC8KRSL6UH
ユーザー入力 DISABLED	Memory 無効
アイドルセッションタイムアウト 600 秒	KMS キー -

InventoryAnalysis

エイリアスを作成 Test エージェントビルダーで編集

エージェントの概要

名前 InventoryAnalysis
説明 -
作成日 August 25, 2025, 17:48 (UTC+09:00)
許可 arn:aws:iam::677784863354:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_SXS07
ユーザー入力 DISABLED
アイドルセッションタイムアウト 600 秒

Tags (0)

Key

エイリアスを作成

エイリアス名

latest

有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_(アンダースコア)、-(ハイフン)です。名前は最大 100 文字です。

説明 - オプション

説明を入力してください

有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_(アンダースコア)、-(ハイフン)です。名前は最大 200 文字です。

バージョンを関連付ける

- 新しいバージョンを作成し、このエイリアスに関連付けます。
- 既存のバージョンを使用して、このエイリアスに関連付けます。

スループットを選択

現在の作業中のドラフトは Claude 3 Haiku モデルを使用しています。このモデルのスループットを以下から選択してください。

- On-demand (ドット)
- Provisioned Throughput (PT)

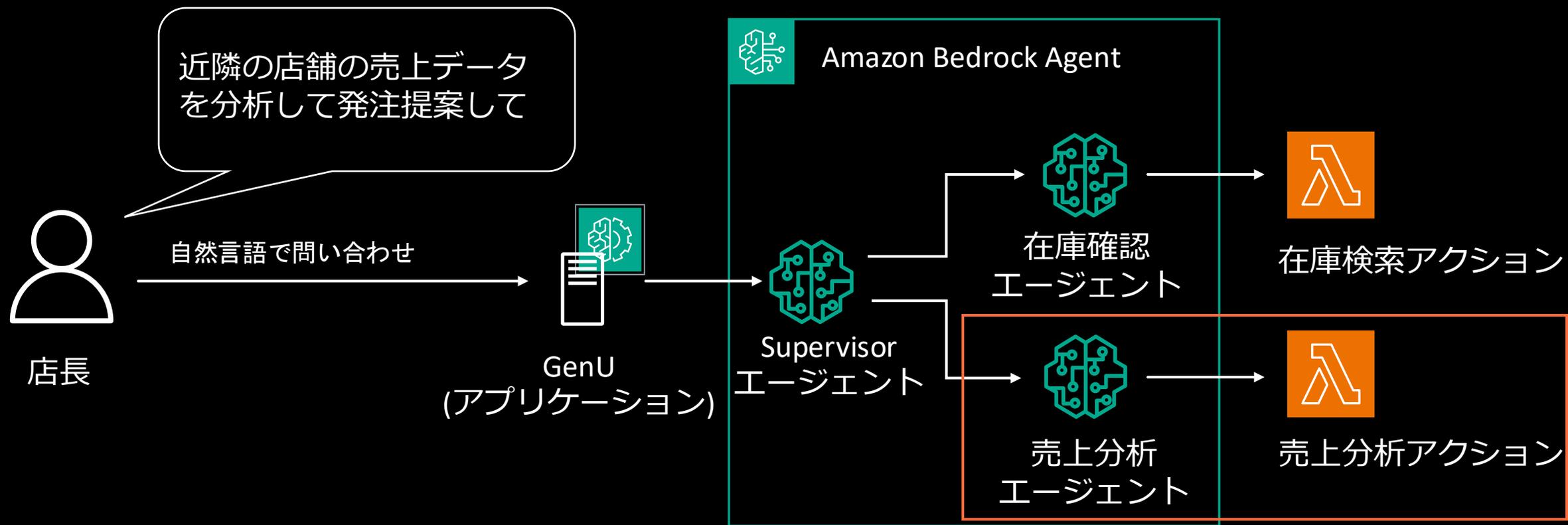
キャンセル エイリアスを作成

Manage tags

売上分析 エージェントの作成

ハンズオンのアーキテクチャ

店舗業務に必要な在庫管理、売上分析などを行うAIエージェントと実際に店舗側からアクセスできるWebアプリケーションを構築



売上分析エージェントの作成

- Amazon Bedrock コンソールのナビゲーションペインから [エージェント]
- [エージェントを作成]
 - 名前：SalesAnalysis
 - その他はデフォルト

The screenshot shows the Amazon Bedrock console interface. On the left, the navigation menu is visible, with the 'Build' section expanded and 'エージェント' (Agents) highlighted with a red box and a circled '1'. The main content area shows the 'エージェント' (Agents) page, which includes an 'Overview' section with instructions on how to create an agent. Below this, there is a table for 'エージェント (0)' (Agents (0)) with columns for '名前' (Name), 'ステータス' (Status), '説明' (Description), and '最終更新日' (Last Updated). The table is currently empty, and a red box with a circled '2' highlights the 'エージェントを作成' (Create Agent) button in the top right corner of the table area.

エージェントビルダーの編集

- [モデルを選択]
 - Anthropic → Claude 3 Haiku
- [エージェント向けの指示]
 - あなたは売上分析エージェントです。あなたは以下のことができます。
指定された店舗について、商品の売上を確認する。

エージェントビルダーの編集

- モデル、指示の入力をしたら一度保存

The screenshot shows the 'Edit' page for an agent in the AWS Agent Builder console. The page title is 'エージェントビルダー 情報' (Agent Builder Information). At the top right, there are navigation buttons: 'Manual', 'Assistant', 'テスト' (Test), '準備' (Ready), '保存' (Save), and '保存して終了' (Save and End). The 'Save' button is highlighted with a red box. The main content area is titled 'エージェントの詳細' (Agent Details) and contains several sections:

- エージェント名** (Agent Name): A text input field containing 'SalesAnalysis'. Below it, a note states: '有効な文字は、a～z、A～Z、0～9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。名前は最大 100 文字です。' (Valid characters are a-z, A-Z, 0-9, _ (underscore), - (hyphen). The name is up to 100 characters.)
- エージェントの説明 - オプション** (Agent Description - Option): A text area with the placeholder '説明を入力してください' (Please enter a description). Below it, a note states: '説明は最大 200 文字です。' (Description is up to 200 characters.)
- エージェントリソースロール** (Agent Resource Role): Two radio buttons: '新しいサービスロールを作成して使用' (Create and use a new service role) and '既存のサービスロールを使用' (Use an existing service role). A dropdown menu below shows 'AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_K2QKWNA5AJ7'.
- モデルを選択** (Select Model): A button for 'Claude 3 Haiku v1' with a 'オンデマンド' (On-demand) label.
- エージェント向けの指示** (Instructions for Agent): A text area with the placeholder 'あなたは売上分析エージェントです。あなたは以下のことができます。指定された店舗について、商品の売上を確認する。' (You are a sales analysis agent. You can do the following. Check the sales of the specified store). Below it, a note states: 'この指示は 40~4000 文字です。' (This instruction is 40~4000 characters.)
- その他の設定** (Other Settings): A section header with a right-pointing arrow.

アクショングループの追加

- エージェントビルダーの画面中央から [アクショングループ] → [追加]
- アクショングループ名 : SalesAnalysis
- 説明 : 店舗の売上を分析する
- アクショングループ関数
 - 名前 : SalesAnalysis
 - 説明 : 店舗の売上を分析する
 - パラメータ :
 - 名前 : storeName, 説明 : 店舗名
 - 名前 : storeId, 説明 : 店舗ID
- その他はデフォルトのまま、[作成]

編集 SalesAnalysis

アクショングループの詳細

アクショングループ名を入力

SalesAnalysis

説明 - オプション

店舗の売上を分析する

有効な文字は、a～z、A～Z、0～9、_(アンダースコア)、-(ハイフン)です。この説明は最大 200 文字です。

▼ アクショングループ関数 1 : SalesAnaly 削除 テーブル JSON エディタ

関数は、定義されたパラメータを使用してこのアクショングループのビジネスロジックを指定します。フォームビルダーまたは JSON エディタを使用して関数を作成します。アクショングループごとに最大 3 つの関数を作成できます。

名前

SalesAnalysis

有効な文字は、a～z、A～Z、0～9、_(アンダースコア)、-(ハイフン)です。この説明は最大 100 文字です。

説明 - オプション

店舗の売上を分析する

有効な文字は、a～z、A～Z、0～9、_(アンダースコア)、-(ハイフン)です。この説明は最大 1200 文字です。

Enable confirmation of action group function - オプション

Request confirmation before user invokes the action group's function. Enabling this may safeguard your end user from malicious prompt injection.

Enabled

Disabled

パラメータ (2)

パラメータを使用すると、アクショングループ関数内のオブジェクト関数を定義できます。

名前	説明	タイプ	必須	削除
storeName	店舗名	string	False	🗑️
storeId	店舗ID	string	False	🗑️

[パラメータを追加](#)

アクショングループの編集

- [アクショングループ] から作成した [SalesAnalysis] をクリック
- [アクショングループの呼び出し] タブのLambda関数の [表示] をクリック

アクショングループの呼び出し
オーケストレーション中に基盤モデルが識別したアクショングループに基づいて呼び出される Lambda 関数を指定します。

Lambda 関数の定義方法を選択してください

- 新しい Lambda 関数をすばやく作成する - 推奨
お客様に代わって Amazon Lambda 関数がおお客様のアカウントに作成されます。これ以上設定する必要はありません。
- 既存の Lambda 関数を選択してください
このアクショングループには既存の Lambda 関数を使用します。
- リターンコントロール
テストウィンドウでのエージェント応答では、応答を生成するための関数の詳細をユーザーに求めるプロンプトが表示されます。これ以上設定する必要はありません。

Lambda 関数を選択
以前に作成した Lambda 関数を選択するか、または `AWS LambdaLabel=`$AWS Lambda ($opens in new tab)`` にアクセスして、新しい関数を作成します。

関数のバージョン

SalesAnalysis-iwgvs ▼ \$LATEST ▼ **表示** 

Lambda関数の編集

- Lambda関数のエディタ内のコードを全選択して削除

The screenshot shows the AWS Lambda console interface for a function named "SalesAnalysis-10he5". The "コードソース" (Code Source) tab is active, displaying a code editor for the file "dummy_lambda.py". The code editor contains a single line of text: "Amazon Q Tip 1/3: Start typing to get suggestions ([ESC] to exit)". A red rectangular box highlights the code editor area. An orange callout bubble with a pointer to the code editor contains the text "dummy_lambda.pyの中身を削除" (Delete the contents of dummy_lambda.py). The console also shows the function's summary, including its name, layers, and ARN.

Lambda関数の編集

- 配布コードの SalesAnalysis.py の内容を空のエディタ内にコピー＆ペースト
- [Deploy]
- Bedrock アクショングループの画面に戻り、[保存して終了]

The screenshot shows the AWS Lambda console's code editor interface. The left sidebar contains the Explorer, Deploy, and Test sections. The Deploy section is expanded, showing a message "You have undeployed changes." and two buttons: "Deploy (⇧⌘U)" and "Test (⇧⌘I)". The "Deploy" button is highlighted with a red rectangle. The main editor area displays the code for "dummy_lambda.py", which includes imports for logging, typing, http, and json, and a list of store data.

```
1 import logging
2 from typing import Dict, Any
3 from http import HTTPStatus
4 import json
5
6 logger = logging.getLogger()
7 logger.setLevel(logging.INFO)
8
9 # 店舗データ
10 store_data = [
11     {
12         "storeId": "S001",
13         "storeName": "新宿店"
14     },
15     {
16         "storeId": "S002",
17         "storeName": "渋谷店"
18     },
19     {
20         "storeId": "S003",
21         "storeName": "目黒店"
22     }
23 ]
24
```

元から入っていたコードは削除し、配布されたコードをペースト

作成したエージェントのテスト

- [保存] → [準備]
- 画面右側の [テストエージェント] に下記のプロンプトを入力：
 - 目黒店の売上を分析して
- [保存して終了]

The screenshot displays the 'Agent Builder' interface with the following elements:

- Buttons:** 'Manual', 'Assistant', 'テスト', '準備' (circled 2), '保存' (circled 1), and '保存して終了' (circled 4).
- Agent Name:** 'SalesAnalysis' (circled 2).
- Agent Description:** A text area for '説明を入力してください' (circled 1).
- Service Role:** 'arn:aws:iam::767397796428:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_BCSZBEJHCM'.
- Model:** 'Claude 3 Haiku v1'.
- Instructions:** 'あなたは売上分析エージェントです。あなたは以下のことができます。指定された店舗について、商品の売上を確認する。' (circled 3).
- Test Agent Panel:** Shows the prompt '目黒店の売上を分析して' and a list of analysis results for various products like coffee beans, tea bags, and ice cream.

エイリアスの作成

- [エイリアスを作成]
- エイリアス名 : latest
- [エイリアスを作成]

SalesAnalysis

エージェントの概要

名前 SalesAnalysis	ID LGGIQYAI2
説明 -	ステータス 🟢 PREPARED
作成日 August 18, 2025, 16:41 (UTC+09:00)	最終準備完了 August 18, 2025, 16:45 (UTC+09:00)
許可 arn:aws:iam::767397796428:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_BCSZBEJHCM	エージェント ARN arn:aws:bedrock:us-east-1:767397796428:agent/LGGIQYAI2
ユーザー入力 DISABLED	Memory 無効
アイドルセッションタイムアウト 600 秒	KMS キー -

エイリアスを作成 Test エージェントビルダーで編集

SalesAnalysis

エージェントの概要

名前 SalesAnalysis	ID LGGIQYAI2
説明 -	ステータス
作成日 August 18, 2025, 16:41 (UTC+09:00)	
許可 arn:aws:iam::767397796428:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_BCSZBEJHCM	
ユーザー入力 DISABLED	
アイドルセッションタイムアウト 600 秒	

Tags (0)

バージョン (1) 情報

バージョン名 | ステータス | 作成日

バージョン 1	🟢 PREPARED	August 18, 2025, 16:45 (UTC+09:00)
---------	------------	------------------------------------

エイリアスを作成

エイリアス名
latest

有効な文字は、a-z、A-Z、0-9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。名前は最大 100 文字です。

説明 - オプション

説明を入力してください

有効な文字は、a-z、A-Z、0-9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。名前は最大 200 文字です。

バージョンを関連付ける

- 新しいバージョンを作成し、このエイリアスに関連付けます。
- 既存のバージョンを使用して、このエイリアスに関連付けます。

スループットを選択

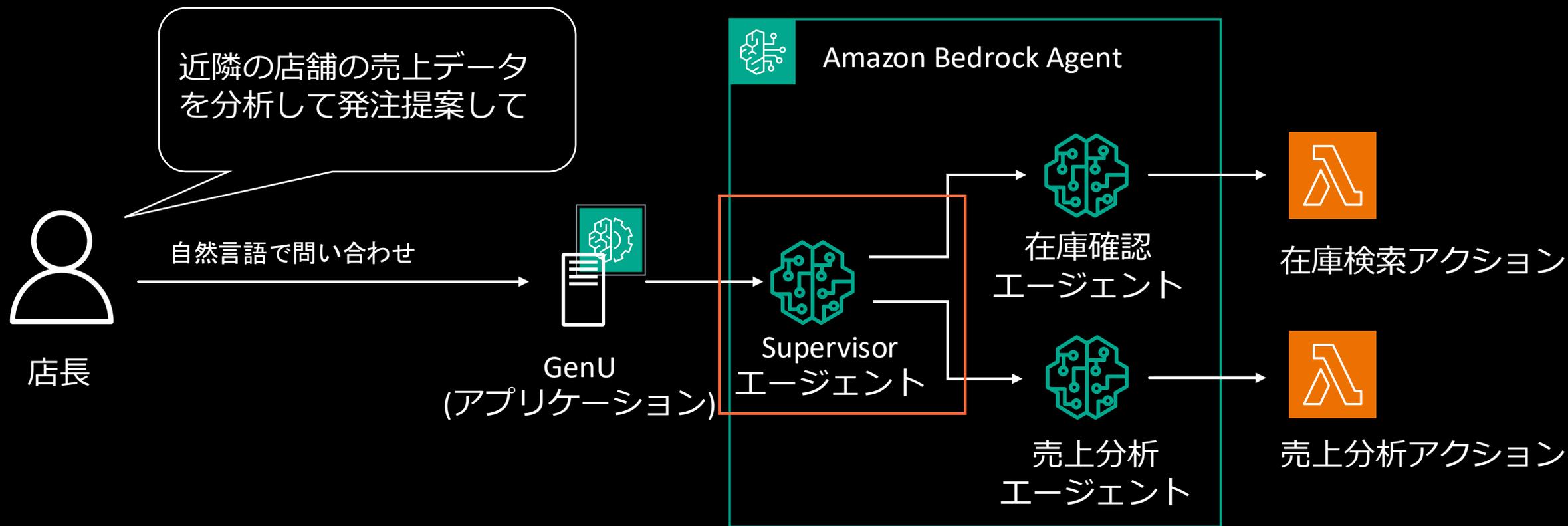
- On-demand (ドット)
- Provisioned Throughput (PT)

キャンセル エイリアスを作成

Supervisor エージェントの作成

ハンズオンのアーキテクチャ

店舗業務に必要な在庫管理、売上分析などを行うAIエージェントと実際に店舗側からアクセスできるWebアプリケーションを構築



Supervisor エージェントの作成

- Amazon Bedrock コンソールのナビゲーションペインから [エージェント]
- [エージェントを作成]
 - 名前 : Supervisor
- [Enable multi-agent collaboration] をチェック



エージェントを作成

名前

Supervisor

有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。名前は最大 100 文字です。

説明 - オプション

説明を入力してください

説明は最大 200 文字です。

Multi-agent collaboration

[Learn more about multi-agent collaboration](#)

Enable multi-agent collaboration

If you have more than one agent, multi-agent collaboration allows this agent to associate the others as agent collaborators to orchestrate responses. You can change this later.

キャンセル 作成

エージェントビルダーの編集

- [モデルを選択]
 - Anthropic → Claude 3.7 Sonnet v1
- [エージェント向けの指示]

あなたは店舗業務スーパーバイザーエージェントです。ユーザーからの指示を解析し、適切なエージェントを実行してタスクを完了してください。

あなたは以下のことができます。

- 店舗の在庫の確認
- 店舗の売上の分析
- 店舗の商品の発注提案

また、東京エリアには以下の店舗が存在します。

"storeId": "S001", "storeName": "新宿店"

"storeId": "S002", "storeName": "渋谷店"

"storeId": "S003", "storeName": "目黒店"



エージェントビルダーの編集

- モデル、指示の入力をしたら一度保存

The screenshot shows the 'Edit' page for an AWS Agent Builder. At the top right, there are navigation buttons: 'Manual', 'Assistant', 'テスト', '準備', '保存', and '保存して終了'. The '保存' button is highlighted with a red box. The main content area is titled 'エージェントビルダー 情報' and contains several sections:

- エージェントの詳細**
 - エージェント名**: A text input field containing 'Supervisor'. Below it, a note states: '有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。名前は最大 100 文字です。'
 - エージェントの説明 - オプション**: A text input field containing '説明を入力してください'. Below it, a note states: '説明は最大 200 文字です。'
 - エージェントリソースロール**: Two radio buttons are present: '新しいサービスロールを作成して使用' (selected) and '既存のサービスロールを使用'. Below them is a dropdown menu showing 'AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_G4QC1T5NQWP'.
 - モデルを選択**: A button labeled 'Claude 3.7 Son... v1' with a sub-label 'US Anthropic Claude 3.7 Sonnet'.
 - エージェント向けの指示**: A text input field containing: 'あなたは店舗業務スーパーバイザーエージェントです。ユーザーからの指示を解析し、適切なエージェントを実行してタスクを完了してください。あなたは以下のことができます。- 店舗の在庫の確認'. Below it, a note states: 'この指示は 40~4000 文字です。'
 - その他の設定**: A link to expand other settings.

Multi-agent collaboration の作成

- エージェントビルダーの画面を下にスクロール
- [Multi-agent collaboration] → [編集]

The screenshot displays the configuration page for an agent's multi-agent collaboration. It is divided into two main sections: 'Orchestration strategy' and 'Multi-agent collaboration'.

Orchestration strategy (情報) [編集]

Specify how the Agent processes information and coordinates a response. By default, orchestration is defined by advanced prompts that can be overridden or customized for advanced use cases.

Orchestration type デフォルト	オーケストレーション デフォルト	後処理 デフォルト
前処理 デフォルト	ナレッジベースの回答生成 デフォルト	Session summarization デフォルト

Multi-agent collaboration [View collaborators] [編集]

Multi-agent collaboration allows this agent to delegate tasks to other collaborator agents. When you enable this, the agent becomes a supervisor agent that coordinates responses from agent collaborators.

Status Enabled	Agent collaborators 0
--------------------------	---------------------------------

⚠ No agent collaborators found
When you enable multi-agent collaboration, to test this agent, it must be associated with other agent collaborators.

Agent collaborator の追加

- Agent collaborator
 - Collaborator agent : InventoryAnalysis
 - Agent Alias : latest
 - Collaborator name : InventoryAnalysis
 - Collaborator Instruction
 - 指定された店舗の商品在庫を確認します。

▼ **Agent collaborator : InventoryAnalysis** 

An agent in the multi-agent collaboration that orchestrates and returns a final response.

Collaborator agent **Agent alias**

InventoryAnalysis ▼ latest ▼ [View](#) 

Collaborator name

An alternate name that appears only in collaboration instructions. It doesn't replace the original agent name.

InventoryAnalysis

Valid characters are a-z, A-Z, 0-9, _ (underscore), and - (hyphen). Collaborator name must be 1-50 characters.

Collaborator instruction

Describes the task that the agent performs within the multi-agent collaboration. We recommend that you provide clear, specific scenarios. You can also provide style and tone. Refer to the agent using its collaborator name.

指定された店舗の商品在庫を確認します。

Collaboration instruction must be 40-2,000 characters.

Enable conversation history sharing

When enabled, in future invocations, the supervisor agent can share context from previous responses with this collaborator agent.

Agent collaborator の追加

- [Add collaborator]
- Agent collaborator
 - Collaborator agent : SalesAnalysis
 - Agent Alias : latest
 - Collaborator name : SalesAnalysis
 - Collaborator Instruction
 - 指定された店舗について、商品の売上を確認します。

▼ **Agent collaborator : SalesAnalysis** 

An agent in the multi-agent collaboration that orchestrates and returns a final response.

Collaborator agent **Agent alias**

SalesAnalysis latest [View](#)

Collaborator name

An alternate name that appears only in collaboration instructions. It doesn't replace the original agent name.

SalesAnalysis

Valid characters are a-z, A-Z, 0-9, _ (underscore), and - (hyphen). Collaborator name must be 1-50 characters.

Collaborator instruction

Describes the task that the agent performs within the multi-agent collaboration. We recommend that you provide clear, specific scenarios. You can also provide style and tone. Refer to the agent using its collaborator name.

指定された店舗について、商品の売上を確認します。

Collaboration instruction must be 40-2,000 characters.

Enable conversation history sharing

When enabled, in future invocations, the supervisor agent can share context from previous responses with this collaborator agent.

Agent collaboratorの確認

- 入力内容を確認
- [Save and exit]

Collaboration configuration

Choose how the supervisor agent handles information across the multi-agent collaboration to coordinate a final response.

Supervisor
This supervisor agent will coordinate a final response from the agent.

Supervisor with routing
The supervisor agent routes information to the appropriate collaborator agent, which outputs a final response.

▼ Agent collaborator : InventoryAnalysis

An agent in the multi-agent collaboration that orchestrates and returns a final response.

Collaborator agent **Agent alias**

InventoryAnalysis ▾ latest ▾ [View](#)

Collaborator name
An alternate name that appears only in collaboration instructions. It doesn't replace the original agent name.

InventoryAnalysis

Valid characters are a-z, A-Z, 0-9, _ (underscore), and - (hyphen). Collaborator name must be 1-50 characters.

Collaborator instruction
Describes the task that the agent performs within the multi-agent collaboration. We recommend that you provide clear, specific scenarios. You can also provide style and tone. Refer to the agent using its collaborator name.

指定された店舗の商品在庫を確認します。

Collaboration instruction must be 40-2,000 characters.

Enable conversation history sharing
When enabled, in future invocations, the supervisor agent can share context from previous responses with this collaborator agent.

▼ Agent collaborator : SalesAnalysis

An agent in the multi-agent collaboration that orchestrates and returns a final response.

Collaborator agent **Agent alias**

SalesAnalysis ▾ latest ▾ [View](#)

Collaborator name
An alternate name that appears only in collaboration instructions. It doesn't replace the original agent name.

SalesAnalysis

Valid characters are a-z, A-Z, 0-9, _ (underscore), and - (hyphen). Collaborator name must be 1-50 characters.

Collaborator instruction
Describes the task that the agent performs within the multi-agent collaboration. We recommend that you provide clear, specific scenarios. You can also provide style and tone. Refer to the agent using its collaborator name.

指定された店舗について、商品の売上を確認します。

Collaboration instruction must be 40-2,000 characters.

Enable conversation history sharing
When enabled, in future invocations, the supervisor agent can share context from previous responses with this collaborator agent.

作成したエージェントのテスト

- [保存] → [準備]
- 画面右側の [テストエージェント] に下記のプロンプトを入力：
 - 目黒店の在庫を分析して
- [保存して終了]

The screenshot displays the AWS Agent Builder interface. The main panel is titled 'エージェントビルダー 情報' (Agent Builder Information) and includes tabs for 'Manual', 'Assistant', and 'テスト' (Test). Three buttons at the top right are highlighted with a red box: '準備' (Prepare), '保存' (Save), and '保存して終了' (Save and End). The '準備' button is circled in red and labeled '2'. The '保存' button is circled in red and labeled '1'. The '保存して終了' button is circled in red and labeled '4'. The 'エージェントの詳細' (Agent Details) section shows the agent name 'Supervisor' (circled in red and labeled '3'), a description field, and a list of roles with '既存のサービスロールを使用' (Use existing service role) selected. The model is set to 'Claude 3.7 Sonnet'. The 'エージェント向けの指示' (Instructions for the agent) field contains the prompt: '- 在庫切れの商品をお知らせ', '- 店舗の売上の分析', and '- 店舗の商品の発注提案'. The right panel, 'テストエージェント' (Test Agent), shows a message box with the instruction 'エージェントが最新の変更をテストできるように準備します。' (Prepare the agent to test the latest changes) and a '準備' (Prepare) button. Below this, a text input field contains the prompt 'Enter your message here' with a red circle and the number '3' next to it.

エイリアスの作成

- [エイリアスを作成]
- エイリアス名 : latest
- [エイリアスを作成]

Supervisor

エージェントの概要

名前 Supervisor	ID O64EC0SGTF
説明 -	ステータス ● PREPARED
作成日 August 18, 2025, 16:45 (UTC+09:00)	最終準備完了 August 19, 2025, 12:57 (UTC+09:00)
許可 arn:aws:iam::767397796428:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_8Y7E3Z29PLG	エージェント ARN arn:aws:bedrock:us-east-1:767397796428:agent/O64EC0SGTF
ユーザー入力 DISABLED	Memory 無効
アイドルセッションタイムアウト 600 秒	KMS キー -

エイリアスを作成 Test エージェントビルダーで編集

Supervisor

エージェントの概要

名前 Supervisor	ID O64EC0SGTF
説明 -	ステータス

作成日
August 18, 2025, 16:45 (UTC+09:00)

許可
arn:aws:iam::767397796428:role/service-role/AmazonBedrockExecutionRoleForAgents_8Y7E3Z29PLG

ユーザー入力
DISABLED

アイドルセッションタイムアウト
600 秒

Tags (0)

Key

エイリアスを作成

エイリアス名
latest

有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。名前は最大 100 文字です。

説明 - オプション
説明を入力してください

有効な文字は、a~z、A~Z、0~9、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) です。名前は最大 200 文字です。

バージョンを関連付ける

新しいバージョンを作成し、このエイリアスに関連付けます。

既存のバージョンを使用して、このエイリアスに関連付けます。

スループットを選択

On-demand (ドット)

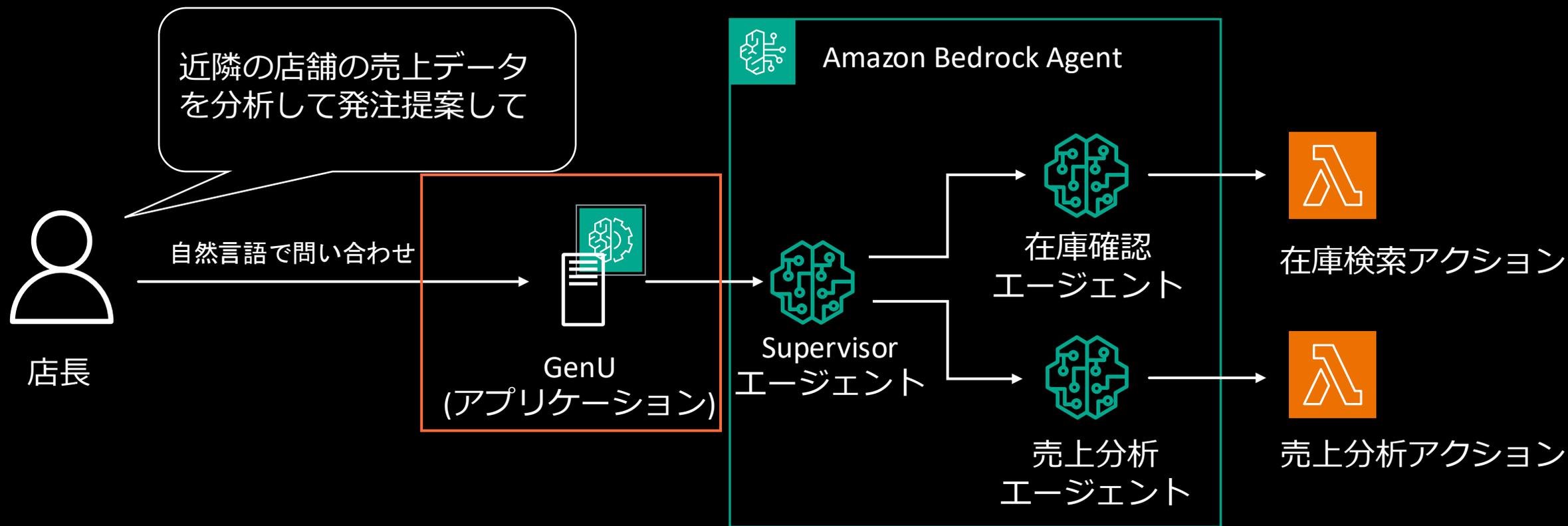
Provisioned Throughput (PT)

キャンセル エイリアスを作成

エージェントをGenU (生成AIアプリ ケーション)にデプロイ

ハンズオンのアーキテクチャ

店舗業務に必要な在庫管理、売上分析などを行うAIエージェントと実際に店舗側からアクセスできるWebアプリケーションを構築



cdk.jsonを編集

- 事前配布された cdk.json を開く
- 62行目のagentId、63行目のaliasIdを自身のSupervisorエージェントのものに書き換える
- AgentId は Supervisor エージェント画面の [エージェントの概要] から、aliasId は [エイリアス] から確認可能
- 変更を保存

```
58     "searchApiKey": "XXXXXXXXXX",
59     "agents": [
60       {
61         "displayName": "StoreOperationAgent",
62         "agentId": "XXXXXXXXXX",
63         "aliasId": "XXXXXXXXXX"
64       }
65     ],
66     "inlineAgents": false,
```

エージェントの概要

名前 Supervisor	ID XPNKOU8FIS
説明 -	ステータス PREPARED

エイリアス (1) 情報

エイリアスはエージェントの特定のバージョンを指します。バージョンを作成してエイリアスに関連付けられたバージョンを更新することもできます。

🔍 エイリアスを検索します

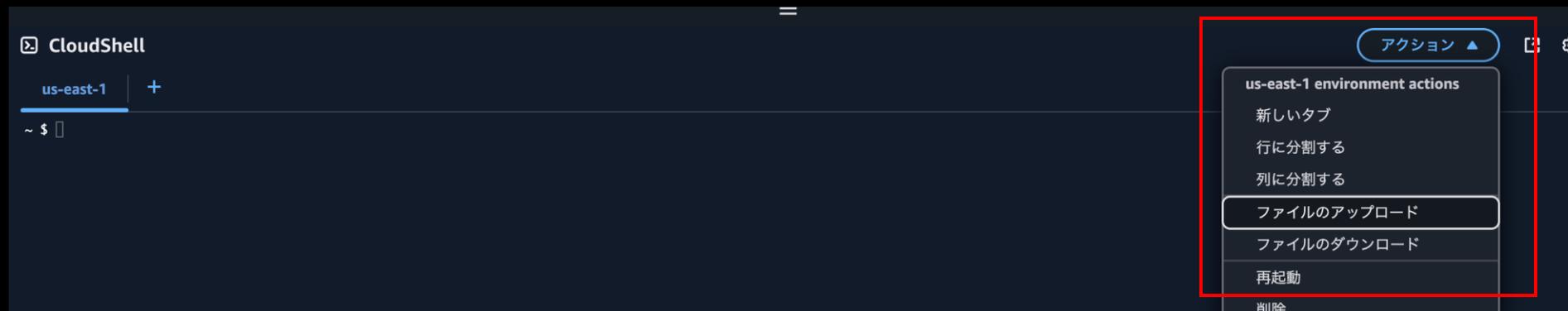
エイリアス ID	エイリアス名	説明	関連付けられたバージョン
GVVPHBELCL	latest		バージョン 1

CloudShell にファイルをアップロード

- 画面右上のアイコンから、CloudShellを起動



- CloudShell のシェル画面右上の [アクション] → [ファイルのアップロード]
- `cdk.json` と `deploy.sh` を1つずつアップロード



GenU でエージェントを利用

- GenU にログイン
- [Agent チャット]
- 利用するチャットを [StoreOperationAgent] に変更



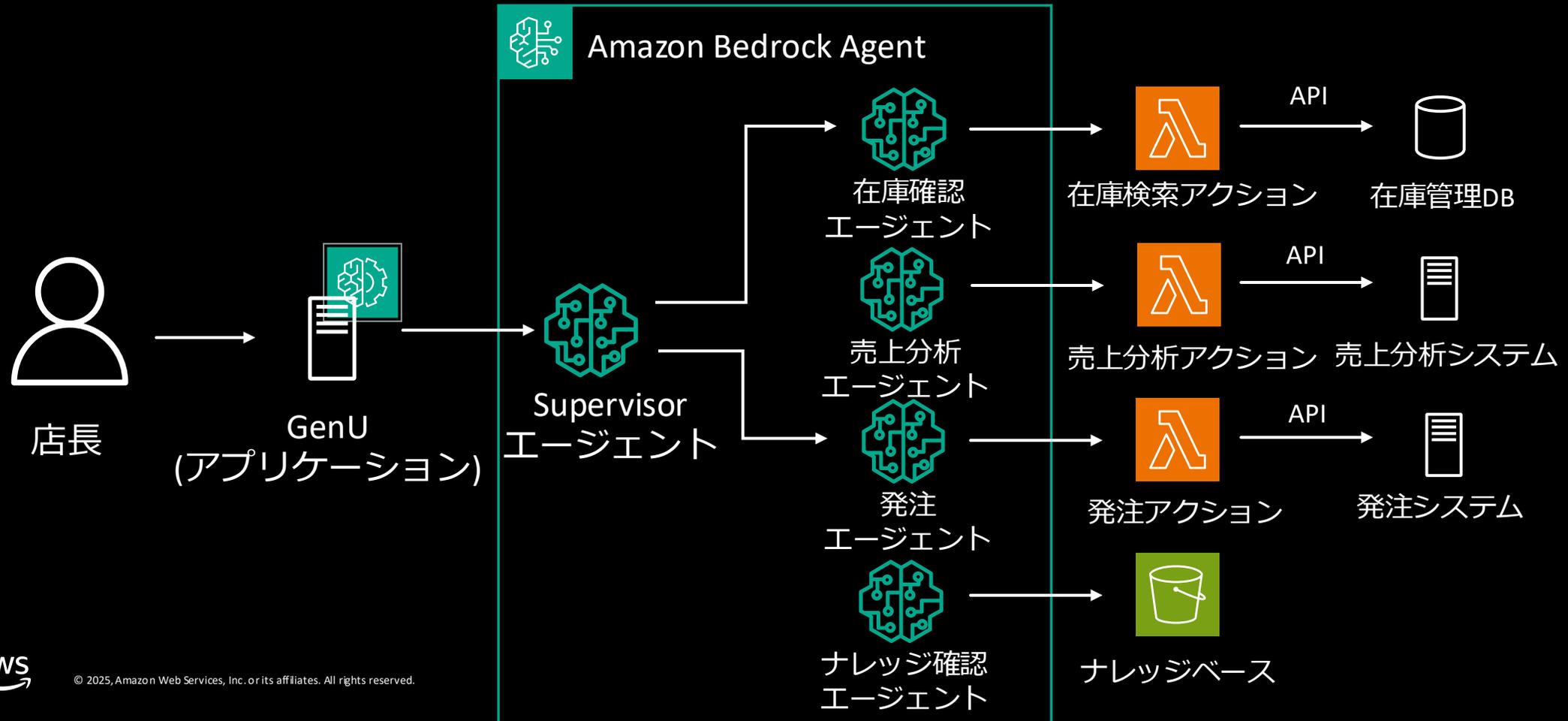
GenU でエージェントを利用

- Agent で以下のプロンプトを試す
 - 目黒店の分析をして、発注数量を提案して
 - 目黒店の売上を他の東京エリアの店舗と比較して
 - 他の東京エリアの売上を参考にしながら、目黒店の発注提案をして
- [トレース] から Supervisor エージェントのトレースを確認可能
- 持たせているデータ
 - 店舗：新宿店、渋谷店、目黒店
 - 商品：コーヒー豆、アイスコーヒー、ティーバッグ、ウーロン茶
 - 在庫：各店舗、各商品の在庫データ
 - 売上：各店舗、各商品の売上データ

まとめ

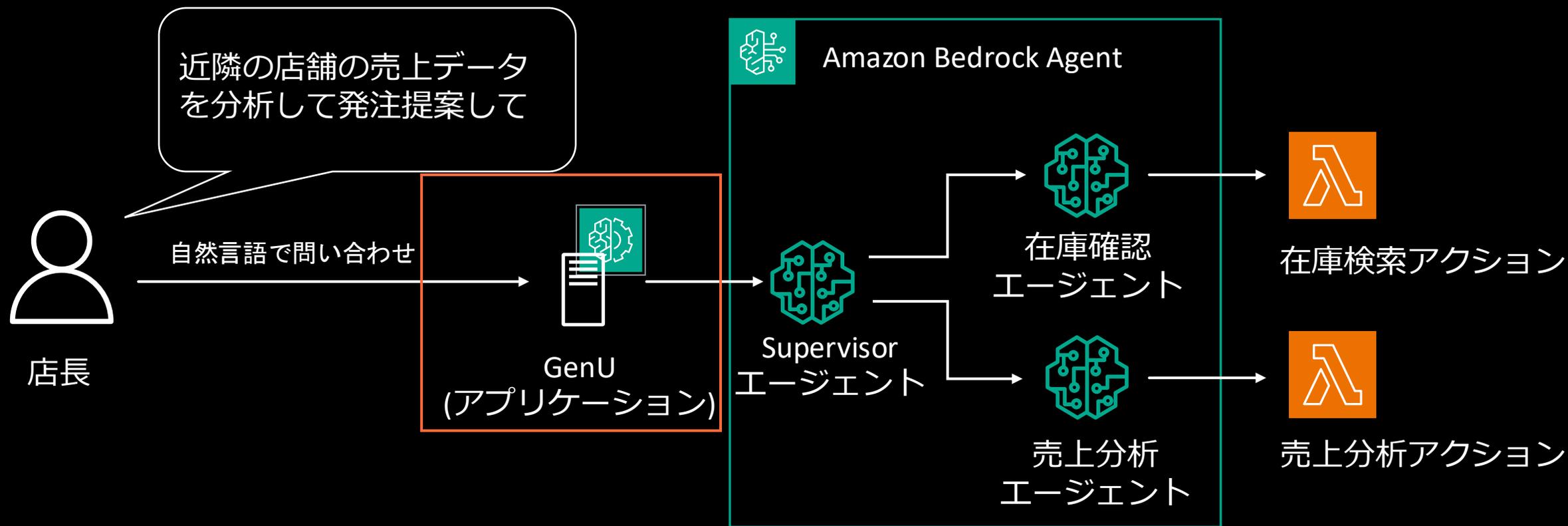
自社店舗での活用を考える

店舗業務の様々な業務とシステムをAPIを介してAIエージェントに組み込むことができます



まとめ

店舗業務で利用するAIエージェントを作成して、自社の店舗ではどういった利用ができるかをイメージする



次のセッションに向けて

GenU の他の機能を試してみてください (次のセッションで使えるかもしれませんが)

- チャット機能：一般的なチャットbot
- 議事録生成機能：リアルタイムに会話を文字起こしして要約
- ダイアグラム機能：AWSアーキテクチャなどのダイアグラムをtextから生成
- 画像生成機能：textから画像を生成

Thank you!

